

幼児教育研究センターの設置について

(国立教育政策研究所 平成 28 年 4 月 1 日 報道発表)

本日、国立教育政策研究所において、幼児教育に関する研究を行う組織として「幼児教育研究センター」を設置しました。

1. 設置の趣旨

幼児教育については、近年、国内外において、その重要性に対する認識が高まっており、我が国においても、幼児教育の質の向上や幼児教育の段階的無償化等に関する議論が進められています。こうした状況を踏まえ、幼児教育の観点からより効果的な研究活動を遂行するため、当研究所内に幼児教育研究センターを新たに設置しました（センター長：田口 重憲）。

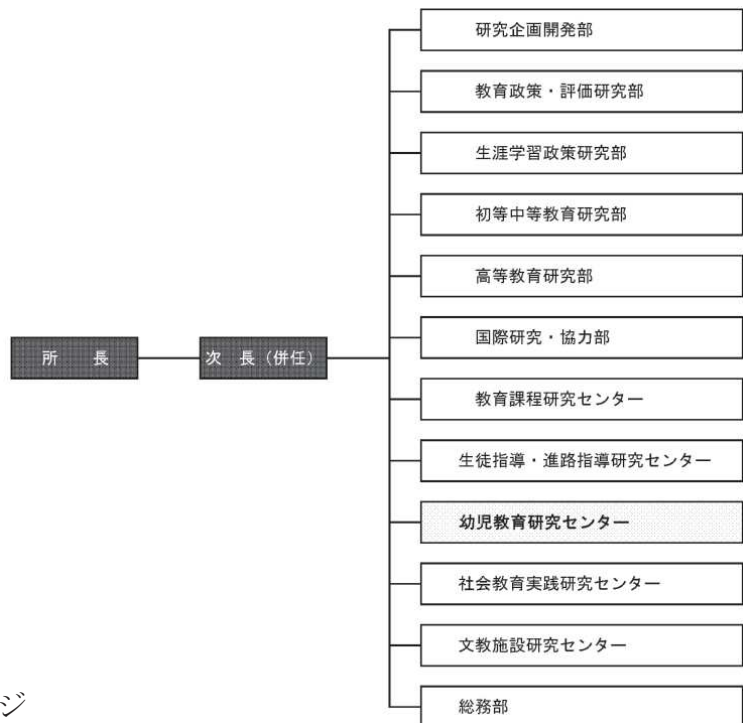
また、3 月に取りまとめられた報告書「幼児教育に関する調査研究拠点の整備に向けて」（文部科学省「幼児教育に関する調査研究拠点の整備に向けた検討会議」（座長：無藤 隆 白梅学園大学子ども学部教授））においては、幼児教育研究に関する国の調査研究拠点の整備が必要とされており、本センターが、この国の調査研究拠点としての役割を担うこととされています。

2. センターの業務

当センターでは、以下のような業務を行います。

- (1) 幼児教育に関する調査研究の実施
 - 幼児教育の質を捉える指標に関する研究、幼児の育ち・学びを捉える手法に関する研究、OECD 国際調査の国内実施、など
- (2) 内外の研究機関や地方公共団体、幼稚園等との研究ネットワークの構築
- (3) 地方公共団体や幼児教育関係者等への研究成果の普及

別添：国立教育政策研究所組織図



<参考>

- ・ 幼児教育研究センターのホームページ
http://www.nier.go.jp/youji_kyouiku_kenkyuu_center/y_index.html
- ・ 「幼児教育に関する調査研究拠点の整備に向けて」（報告）へのリンク
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/114/houkoku/1368733.htm

※報告は、次頁以降に掲載（編集係）